名古屋大学グローバルネットワーク

国際交流グループ

2019 年度活動報告書

Global Network
NAGOYA UNIVERSITY

名古屋大学グローバルネットワーク

2019 年度活動報告書

1．　名古屋大学グローバルネットワーク（国際交流グループ）紹介

2．　スモールワールド・コーヒーアワー活動報告

3．　プレゼンテーションアワー活動報告

4．　ヘルプデスク活動報告

5．　留学のとびら活動報告

6．　異文化交流サークル ACE 活動報告

7．　NUFSA 名古屋大学留学生会　活動報告

Global Network
NAGOYA UNIVERSITY

名古屋大学グローバルネットワーク（国際交流グループ）

名古屋大学ではキャンパスの国際交流を活発にするために
学生が主体となって様々な交流活動をしています。
そんな活動を一緒にサポートしてくれる仲間を募集しています。
学生の皆さんの参加をお待ちしています！

スモールワールド・コーヒーアワー　（Small World Coffee Hour）

コーヒーやお茶を片手にリラックスした雰囲気の中で留学生と一般学生が出会い、文化や学生生活に関することなどを気軽に話し合える国際交流の場を毎月（学期中）に開催しています。楽しい文化交流の場を一緒に作ってくれる仲間を募集中です！

Email: isa@iee.nagoya-u.ac.jp
Website: http://acs.iee.nagoya-u.ac.jp/program/smallworld.html
Facebook: www.facebook.com/meidaicoffeehour

プレゼンテーションアワー　～世界が広がる２０秒～　（Presentation Hour）

国際色豊かなプレゼンテーションを通して、アカデミックな交流の場を年に１～２回開催しています。プレゼンテーションの内容は、研究、専門、趣味、異文化・留学体験、マイブームなど多岐に渡ります。プレゼンター、または運営スタッフとして一緒に活動してくれる仲間を募集中です！

Email: isa@iee.nagoya-u.ac.jp
Website: http://acs.iee.nagoya-u.ac.jp/program/smallworld.html
Facebook: www.facebook.com/meidaicoffeehour

ヘルプデスク　（Help Desk）

ヘルプデスクは、留学生を支援する国際交流団体です。留学生と交流を深めることを目的としたハロウィンパーティーや花火大会などを開催しています。それだけではなく、留学生と話したり、一緒に勉強したりと普段から楽しく活動しています。また、生活に必要な情報を提供し、日常生活や勉強などの質問や相談にも対応しています。私たちと一緒に活動してくれる学生を募集中です！

Email: nagoyaunivhelpdesk@gmail.com
Facebook: https://www.facebook.com/NuHelpdesk/

留学のとびら　（Gateway to Overseas Studies）

留学経験者が集まり、留学を目指す名大生をサポートしています。2019 年度は留学写真展、留学計画ワークショップ、毎週昼休みの相談会、交換留学前の書類・面接対策などを行いました。SNS を通じた情報・インタビュー発信や留学仲間のコミュニティづくり、また個別相談も行っていますので、留学に関心がある人もそうでない人もぜひチェックしてみてください。

Email: nu.ryu.tobi@gmail.com

Facebook: https://www.facebook.com/ryugakunotobira/

異文化交流サークル ACE　（Action Group for Cross-Cultural Exchange）

ACE では、「交流・架け橋・ボランティア」の三大理念を掲げ、活動を行っています。毎年 4 月、10 月頃に名古屋大学に来る留学生に対し、入寮のサポートやウェルカムパーティー等を開催したり、他にも 1 年を通じて留学生と一般学生との交流を図るイベントを行ったりすることで、留学生が日本での生活を楽しめるよう少しでも力になりたいと考えています。いつでも誰でもお気軽に参加してください！

URL: http://ace.tuzikaze.com

Facebook: https://www.facebook.com/Events-of-ACE-293892397287990/

NUFSA 名古屋大学留学生会
（Nagoya University Foreign Students Association）

名古屋大学の留学生や一般学生など多様なメンバーで構成されている留学生会です。名古屋大学で学ぶ留学生が楽しく留学生活を送れるようサポートしたり、国際交流イベントを開催しています。参加お待ちしています！

Email: nufsa.nagoya@gmail.com

Facebook: https://www.facebook.com/nufsajp/

スモールワールド・コーヒーアワー　Small World Coffee Hour

2019 年度　活動報告

総合文責：梅本涼

1.　団体紹介

Small World Coffee Hour はイベント「Small World Coffee Hour」（以下、コーヒーアワー） を企画・運営する団体である。留学生・日本人学生を問わず、様々な所属・学年の人が出会い繋がることのできる場を提供することを目的として、2005 年後期に発足した。以降、イベント内容に工夫を凝らし、組織運営を円滑化することで、今年度まで 10 年以上継続するに至っている。

1.1 理念

留学生や国内学生をはじめとする様々な文化的背景を持つ人たちに、学内での交流の場を提供することを目的としている。それぞれの文化的背景を考慮した、誰もが楽しめるイベントを行えるよう心掛けている。

1.2 特徴

・有志の学生が中心となって活動している。（学部・学年・国籍は問わない）
・誰でも参加できるオープンなイベントを月に 1 度のペースで開催できるよう企画・運営をしている。
・イベントでは、参加者同士が話すきっかけとなるようなテーマやアクティビティを実施している。

2. 活動紹介

2.1 活動について

2.1.1　ミーティング

週に 1 度の頻度で行い、企画書をもとにして、その月のコーヒーアワーのテーマや内容、役割分担、会場のレイアウトなどを決めている。各ミーティングでは、議事録を作成し、参加できなかったメンバーも内容を共有できるようにしている。

2.1.2　広報活動

各イベントのポスターを、各学部および研究科・国際教育交流センター・生協・食堂・中央図書館などに掲示した。コーヒーアワーの Facebook、Instagram ページでイベントごとにイベントページを作成し、メンバーの知り合いを招待した。国際教育交流センター所属の教員に、授業の中でコーヒーアワーの活動を紹介していただいた。

2.2　コーヒーアワーについて

2.2.1　当日の動き（目安）

15:00　国際棟給湯室にてコーヒーを準備/会場で企画書に沿って設営開始
16:15　受付開始
16:30　イベント開始
18:00　イベント終了、片付け
18:30　振り返りミーティング

2.2.2 本年度の工夫点

今年度は 5・6・ 7 ・10・11・12 月の開催とり、学期中にほぼ毎月行うことができた。企画・準備も余裕をもって行えた月が多かった。さらに、昨年度までは毎回夕方に開催していたが、お昼に開催する回も設けるなど、多くの人が参加できるように工夫した。また、6 月にはベトナムから団体で訪問してくれた高校生にも参加してもらうことができ、より多くの人が交流できる場にすることができた。

３．年間行事記録

【5 月コーヒーアワー：ボードゲーム・カードゲーム】

文責：木村海里
日時：5 月 31 日(金)16:30～18：00
場所：国際教育交流センター1 階ラウンジ
参加人数：42 名

イベント概要：

カルタやトランプ、UNO といったカードゲームや「ブロックス」といった陣地取りボードゲームで遊ぶことを通じて会話のきっかけを作る。カルタは読み札がひらがなで書かれているものを用意することで、日本語を学習している留学生にも積極的に参加してもらうことができる。

実施した感想：

ゲームを通じて交流ができて、会話のきっかけが多く楽しめたと思う。しかし、ルールのわからないゲームの場合は、ルールを理解して実際に遊ぶのはけん玉などの企画に比べると少し難しかったなと感じた。

気付いたこと（改善点など）：

参加者の中で留学生の割合が少なかった。考えられる可能性として時期的に中間テストと被ったことが挙げられる。全体の雰囲気としては、和気藹々とした様子があちこちで見られ、また、コーヒーアワースタッフが会話を促すことでより活発な交流が行われていたように感じられた。

改善点としては 2 点ある。1 点目は、一度場所を決めてしまうとそこから移動しにくくなってしまう点。この改善策としてワールドカフェのように最初に参加者をテーブルに割り振り、時間入れ替え制を採用してみても良いかもしれない。2 点目は、ゲームのルールが分からない人もいた点。この改善策としては、簡単なものでもいいので日本語版・英語版の説明書を用意してみるのはどうだろうか。

【6 月コーヒーアワー：うちわ作り】

文責：石川仁貴

日時：6 月 25 日（火）16:30～18:00

場所：国際教育交流センター1 階ラウンジ

参加人数：名大生 37 人

ベトナム高校生 20 名 （コクヨベトナムキャンパスノートキャンペーン）

計 57 名

イベント概要：

書道とうちわ作りを同時に体験できるような企画を行った。うちわの骨組みとそれに貼りつけるだけになった台紙がセットになったものを用意し、1 人 1 セット配る形で行った。道具は筆ペンと絵具セットを用意した。また、練習用の半紙を用意して、試し書きなどもできるようにした。

実施した感想：

当日はベトナムから来た高校生にも参加していただき、とても盛り上がった。参加してくれた人は、それぞれ思い思いの絵や漢字を書いて、楽しんでくれていた。

気づいたこと（改善点など）：

参加者の皆さんが絵具のコーナーに集中してしまい、習字というテーマが薄れてしまったことが改善点として挙げられる。これについては、習字と絵具のコーナーをはっきりとわけ、習字の手本や本物の筆と墨を用意することでより良いものになったと考えられる。

【7 月コーヒーアワー：マシュマロチャレンジ】

文責：長田恵梨菜

日時： 7 月 10 日（水）16:30～18:00

場所：国際教育交流センター1 階ラウンジ

参加人数：25 人

イベント概要：

参加者を六人程度のグループに分け、マシュマロとパスタを使って、できるだけ高いタワーを作るグループワークである、マシュマロチャレンジを行った。チームを変えて、三回行った。一番高いタワーを作れたチームには景品として、お菓子を配った。

実施した感想：

一つの課題があると、会話が必要になって、コミュニケーションが自然にとれていたように思う。また、ものを作り上げるという課題はチームに連帯感をもたらすので、とてもよかった。また、ゲーム性があるので、純粋に皆楽しんでいるように見えた。

気づいたこと（改善点など）：事前の準備に少し手間がかかってしまうので、当日の参加人数に合わせて対応するのが、難しいと思われる。

【10 月コーヒーアワー：カラーイマジネーション】

文責：吉岡優樹

日時：10 月 9 日（水） 12:15~14:00

場所：国際交流教育センター１階ラウンジ

参加人数：48 人

イベント概要：

10 色程度の色カードを 1 人 1 セット用意する。テーブルに 6 人ずつ誘導し、グループを作る。トピックを提示し、イメージにある色を選んでもらい、色を選んだ理由などをグループで自由に話してもらう。「日本」等簡単なトピックを 4 つ準備した。12:45 ごろからは、ボードゲーム、カードゲームで交流した。

実施した感想：

初めての昼休みからの開催で、昼休み時間中は慌ただしく感じた。後半はゆっくりと話すことができた。翌日のミーティングにたくさんの留学生が来てくれたため、コーヒーアワーに興味を持ってもらうことができた。

気付いたこと（改善点など）：

ご飯が食べられなかったという声があった。アクティビティ中も食べてもらえるようにアナウンスをする、または、食事をする人のテーブルを用意する必要がある。日本語で話したい人と英語で話したい人が一緒のテーブルで、意思の疎通が難しいことがあった。

【11 月コーヒーアワー：日本の遊び（カルタ・けん玉など）】
文責：木村海里
日時：11 月 13 日(水)12:15～14：00
場所：国際教育交流センター1 階ラウンジ
参加人数：40 名

イベント概要：
日本の伝統的な遊びを通じて、留学生と日本人学生の交流を図ることを目的にイベント作りを行った。多くの留学生にとってけん玉やカルタ、コマなどで遊ぶのは初体験であることが予想されたので、各ブースに 1 人から 2 人程度スタッフを配置し、留学生にとってゲームや遊びやすい環境を整えることを意識。また、留学生と交流を行いたいと思っている日本人学生にとっても、ゲームを通じて意思の疎通が図れ、そこから徐々に会話につながることも考慮した。

実施した感想：
日本の遊びがテーマだったので、参加してくれた留学生に日本の学生がやり方を教えてあげるというようなきっかけが多くて、交流しやすかったと思う。けん玉やコマなどは比較的一回行うのにかかる時間が少ないため、流動的に色々な遊びを体験したり、多くの人と話すことができて多くの人が楽しめていたと感じた。

気付いたこと（改善点など）：
けん玉と将棋が留学生に非常に人気だった。けん玉に関しては、コマなどと比べ小難しい技術が必要とされず、簡単に行えるという点で人気が高かったように感じた。将棋に関しては、各駒に漢字が書かれているので、漢字の勉強にもなるし、チェスの要領で戦えるので、ルールとしても分かりやすいようだった。
ただ、将棋は二人でしか行えないこと、一戦一戦に時間がかかってしまうので将棋をやりたい人全員ができたのか不安が残った。今後は、もう少し将棋盤と駒を増やしても

良いかと思われる。最終的には、参加者みんなが和気藹々とした雰囲気で会話やゲームを行っている姿を見ることができた。会話のきっかけとしてこういったゲームを取り入れるというのは有効なものであるように思う。

【12 月コーヒーアワー：おにぎりアワー】

文責：木村海里

日時：12 月 18 日(水)12:15~13：00

場所：国際教育交流センター1 階ラウンジ

参加人数：48 名

イベント概要：

南部生協に 2 升分の白米を用意してもらい、それを参加者に配膳しおにぎりを作って、食べた。白米の量も限りがあるので、あらかじめ参加者の人数には上限を定め、予約フォームから予約をしてもらい、先着順とした。なお、参加者の中には宗教上の理由で食べられない食材がある人もいることを考慮し、おにぎりに混ぜる具材の確認を徹底して行った。

実施した感想：

おにぎりを作る企画ということで、コーヒーアワーでは初めての試みだったけれども、多くの人が参加してくれて楽しんでくれていたと思う。おにぎりを作った後には、ブルーシートの上で座っておにぎりを食べていたので、留学生とじっくり話すのを楽しめた人も多かったのではないかと思う。

気付いたこと（改善点など）：

食事の場所として、ブルーシートを広げてそこに座っておにぎりを召し上がっていただいたのだが、みんなで座って丸くなって食べるというのは、お互いの距離を縮めるようで、会話を楽しんでいる姿を見ることができた。さらに、後から遅れて参加してきた人も、その輪の中にすっと入り込むことができており、良い環境であったと

思う。

しかし、やはり座っているということもあって、移動がしづらいためか、一度固まってしまうとそこから動きづらい(出づらい)ようで、色んな人と会話をしたい参加者にとってはもしかしたら不便さを感じたかもしれない。今後の改善点としたい。

机にサランラップを引いていたことで、片付けが非常にスムーズに行うことができた。やはり、ふりかけなどが多くこぼれていたので、事前にこのような対応策を講じていたことは良かったと思う。

４．メンバー紹介

木村海里　経済学部経済学科　３年
参加者皆さんが楽しめるような国際交流の場を作ることを心掛けています。
スタッフメンバーも多様性に富んでいて、一緒にいるだけで楽しいです！

石川仁貴　工学部機械航空宇宙工学科　３年
今年度の５月からコーヒーアワーに参加させてもらい、イベントの段取りや準備、簡単な司会など、多くのことを経験させてもらえました。

吉岡優樹　工学部環境土木・建築学科　４年
コーヒーアワーの知名度を上げて、誰でも気軽に参加できるイベントにしたいと思います。

梅本涼　工学部機械航空宇宙工学科　３年
コーヒーアワーを通じて多くの人と交流できて楽しいです。今後も楽しいコーヒーアワーを作ることに貢献していきたいと思います。

崎啓人　工学部マテリアル工学科　３年
おにぎり作りが楽しかったです！

ミカイル サラフィ　国際言語センター　日本語・文化研修生
色々な文化を触れることが好きで、コーヒーアワーを通じて日本人と外国人の友達を作りたいと思います。

長田恵梨菜　法学部　3 年
ゆるゆると自分のやってみたいイベントをできて、留学生や色んな学部の人と知り合うことができて、とても楽しいです。

岩崎絵里加　情報学研究科社会情報学専攻　修士 2 年
パスタタワーの企画が楽しかったです！新しいスタッフが入り、新しい企画に取り組み、とても刺激的でした！

山道知可　法学部法律政治学科　4 年
先輩や後輩、参加者など多くの方々に出会え、運営側として楽しい 4 年間を過ごせました！ありがとうございました！コーヒーアワーがこれからも続きますように。

スモールワールド・コーヒーアワー　(Small World Coffee Hour)
コーヒーやお茶を片手にリラックスした雰囲気の中で留学生と一般学生が出会い、文化や学生生活に関することなどを気軽に話し合える国際交流の場を毎月（学期中）に開催しています。楽しい文化交流の場を一緒に作ってくれる仲間を募集中です！

（問い合わせ）国際教育交流センターアドバイジング部門
(IB 電子情報館西棟 739 号室)
Email: isa@iee.nagoya-u.ac.jp
URL: http://acs.iee.nagoya-u.ac.jp/program/smallworld.html
facebook: www.facebook.com/meidaicoffeehour

プレゼンテーションアワー　2019 年度　活動報告書

総合文責：小島未莉

１．　Introduction

Presentation Hour is a casual event with the purpose of *ideas worth sharing*, which anybody can share anything from their hobby to possession, and the specialty of this event is that the presentation made here consist of 20 slides, 20 seconds each. It is opened to all Nagoya University members free of charge, and many people from different faculty join to listen to the presentation. We aim to create a relaxed atmosphere during the whole event including the presentation by preparing coffee and snacks. This *Presentation Hour* first started as a special event of *Small World Coffee Hour* in 2014, and after this, it became an independent organization, which aims to hold an event every semester, twice a year. Our belief is to create a platform for students, not only Japanese but also for international students who have different backgrounds or studies, to share their ideas and feelings. Therefore, Presentation Hour is held in both Japanese and English. Year by year, the scale of event has been increasing through our effort of searching for speakers, improving the event with creativity, and organizing the event more smoothly. This year, on the event in the spring semester, we emphasized on recruiting student speakers who we want to hear stories from, due to limited numbers of organizers. For the event on fall semester, we changed the date to December, so it would be easier to organize, and more people will come to our event rather than February, which is close to the final exams. Our next goal is to recruit organizers who would create Presentation Hour with us and focus on spreading the event so it would reach to more people who are interested in it.

２．　団体紹介

Presentation Hour(以下プレゼンアワーと省略)は、「Small World Coffee Hour」(以下コーヒーアワーと略)の特別企画として 2014 年に発足し、以来、年に 2 回、各学期に 1 回を目標にプレゼンテーションイベントとして企画・運営をする団体である。ただのプレゼンテーションではなく、20 枚のスライド、それぞれが 20 秒と、簡潔に内容を伝えることが求められている。そして、留学生や日本人学生など多様な文化や専門をバックグラウンドとして持つ学生がアイデアを自由に共有する場所を提供することを目的としている。

発足以来、プレゼンターの募集やイベントの運営の工夫、マニュアルを作成して組織運営を円滑化することで、年々プレゼンターの参加者募集も増大し、規模が大きくなっ

ている。2018 年度は前年度に引き続き学生プレゼンターの募集に力を入れ、特に春学期開催のプレゼンアワーでは、イベント運営の経験者が限られていたため、話を聞きたい方々に直接登壇の打診をすることでプレゼンター選出の負担を軽減した。また、秋学期のプレゼンアワーは時期を例年の 2 月ではなく、12 月に開催することで、試験期間による運営側の負担を減らし、より多くの人に来ていただけるように工夫をした。

２－１．理念

留学生、日本人学生を問わず、プレゼンターが自分の経験、活動や興味を発信し、オーディエンスがそうしたプレゼンターの活動や考え方を知ることで、参加者全員の知見を広げていくことを目標としている。それぞれの文化的背景を考慮した上でプレゼンターとオーディエンス、もしくはオーディエンス同士が交流を深めることができるように心がけている。

２－２．特徴

- ➢有志の学生が中心となって活動を行っている（学部・学年・国籍は問わない）。
- ➢誰でも参加できるようなオープンなイベントを 1 学期に 1 回開催できるように企画・運営を行っている。
- ➢プレゼンターには様々な価値観、文化や専門をバックグラウンドとして持つオーディエンスに対しての配慮（言語、文化、専門知識）をしていただくことを心掛けている。

３．　活動紹介

３－１．活動について

●ミーティング

週に 1 度（毎月 3～4 回）の頻度でミーティングを行い、約 3 か月間の準備で 1 回のプレゼンアワーのイベントを企画している。ミーティングではプレゼンター募集のチラシ作り、プレゼンターのとの顔合わせ、リハーサル、プレゼンアワー当日のスケジュール相談、担当役割決め、そして会場レイアウト決めなど行っている。各ミーティングでは議事録を作成し、メーリングリストを利用して情報を共有している。

●広報活動

イベント広報のポスターを各学部および研究科・国際教育交流センター・生協・食堂などに掲示する。また、留学生相談室から学内の留学生担当者に依頼し、イベント告知のメールを流す。Facebook ではイベント前約一か月間をかけ、プレゼンテーションの内容やプレゼンターの紹介などを行うなどでイベント周知を図っている。

【7 月　第 10 回プレゼンテーションアワー】　　文責：鈴木有咲

「第 10 回プレゼンテーションアワー　～世界に広がる 20 秒～」

日時・場所： 7 月 12 日（金）16:30～19:30 @国際棟 1 階ラウンジ
参加人数： 約 40 人
当日の流れ：

14:45　レイアウトに沿って会場設営開始
15:00　生協購入品、ケータリング到着予定
16:15　受付開始
16:30　イベント開始
19:30　イベント終了、写真撮影、片付け
19:45　懇親会開始
20:30　懇親会終了、片付け

●イベント概要

記念すべき第 10 回目を迎える今回は、プレゼンターを一般公募ではなく、直接団体や個人にオファーするという形で、8 名の方に登壇いただいた。留学生、G30 の学生も計 3 名参加してくださり、日英のバランスも良く行うことができた。事前にテーマを絞ってプレゼンター募集をしたわけではなかったが、国際交流好きな方々が集まったこともあってか、全体として統一感のある内容となった（詳細はプログラム参照)。参加者交流・会話の機会として、プレゼンテーション間に 2 度の Coffee Break(休憩時間)を設け、会場レイアウトや音楽にも気を配った。コーヒーを片手にリラックスして、プレゼンターと参加者の双方が楽しめるような空間作りを心掛けた。

●実施した感想

経験者のメンバーを中心として、協力し合いながら本番当日も特に問題なくスムーズに進行を行うことができた。

今回は、複数の日本人学生の方々から留学経験のお話について話していただき、又、留学生・G30 の学生の方々からは「女性の権利」について、日本人の視点からは見えにくい角度で問題に切り込んでいただき、興味深く思った。それだけではなく、趣味や出身国の文化についてのプレゼンテーションもあり、自分の趣味や専門分野とは全く異なる方面のお話も聞けることもこのイベントの醍醐味であり、自身への刺激となる素敵な機会だと感じた。

●気が付いたこと（改善点など）

留学のとびらや NUFSA の方々等が来て下さったが、その一方で、他のコミュニティの学生や大学構成員の参加が少ないように思った。より多くの方々に足を運んで頂く

ために、また知名度向上のためにも、プレゼンターのコミュニティに多様性が生まれるとよいと考える。また、プレゼンターの関係者以外の方にも行き届くような広報、そして気軽に参加できるような雰囲気作りをこれからも継続していけると良いと感じた。

●イベントポスター、プログラム

-- Presentation Ther

Time	Presenter	Title	Language
16:30		Opening remarks	
16:35	岩崎絵里加 Erica Iwasaki	自分流の美術の楽しみ方 Your Own Way to Explore the Plesure of Art	日本語 Japanese
16:55	渡邊稜介 Ryosuke Watanabe	シンガポール経営大学（SMU）での留学経験と学んだこと Exchange life in SMU	英語 English
17:15	深見勇馬 Yuma Fukami	I CAN FLY	日本語 Japanese
		Coffee Break	
17:45	エリフ・エルドアン Elif Erdorgan	結婚・愛・フェミニズム Marriage, Love and Feminism	英語 English
18:05	野場彩乃 Ayano Noba	みんなちがって、みんないい　～私がアメリカ留学で学んだこと～ Everyone is different, everyone is special ~what I learned through my experience of studying in America~	日本語 Japanese
18:25	イゾベル・コール Isobel Cole	植民地時代から現在へ、移民のオーストラリアの景色に対する意見の変化 Changing Opinions of the Australian Landscape from Immigrant Australians	英語 English
		Coffee Break	
18:55	ウェンディ・ウッツ Wendy Wuyts	なぜ女性は地球を救えるのか？（救えないのか？） why women will (not) save the planet?	英語 English
19:15	増田浩子 Hiroko Masuda	国と言語の関係性　世界のいろんな言語事情 Language and Nation ~various language situations in the world~	英語 English

●イベントの様子

【12 月　第 11 回プレゼンテーションアワー】　　文責：山道　知可

「第 11 回プレゼンテーションアワー　～世界が広がる 20 秒～」

日時・場所：12 月 13 日（金）16：30-19：30

参加人数：約 40 人

当日の流れ：

14：00-　設営・準備（椅子出し、機材準備）

15：00-　生協購入品、ケータリング受け取り

16：15-　受付開始

16：35-　イベント開始

16：35-　プレゼン開始

（途中 2 回　休憩～Coffee Break～）

19：30-　イベント終了、記念写真撮影、懇親会準備・開始

20：00-　片付け開始

●イベント概要

第 11 回の本イベントでは、公募で募った 8 名の学生により、文化や趣味、医療など幅広いジャンルに関する発表が行われた。本イベントの特徴としては、スピーカー8 名中 7 名が留学生であり、留学生が多かったことが挙げられる。したがって 7 つの発表が英語で行われた（テーマの詳細は下記タイムテーブルを参照）のだが、より多くのオーディエンスに楽しんで頂くため、司会者は各発表が終わる毎にサマリーの通訳を日英で行った。また、今回は付属高校にも広報を行ったため、高校生のオーディエンスも数名見受けられた。

●実施した感想

どの発表も非常に興味深い内容であり、オーディエンスの方々からも積極的に多くの質問が出たため、質疑応答の時間が各発表を深掘りする有意義な時間となった。また、発表の合間の休憩中には、プレゼンター・オーディエンス・スタッフの垣根を越えて交流が盛んに行われており、各々がコーヒーやお菓子を片手に、会話を楽しんでいたため良かったと思う。

●気づき（改善点など）

本イベントでは、当日の運営スタッフが不足していたため、コーヒーアワー等、他の国際交流団体から手伝いを募集した。スタッフの卒業や交換留学により、来年度からは更にスタッフの人数不足が予想される。したがって、他の国際交流団体とも協力しながら、スタッフ募集に力を入れる必要がある。一例として、今年度は、新入生向けに行われる「地獄の細道」に参加し、新しいスタッフを集めたいと考えている。

また広報に関して、当日はオーディエンスが流動しながらも常に会場には 20 人ほどのオーディエンスがいたため、ポスターや Facebook 等を使った広報が比較的上手くいっていたと考えられる。

●公募用ポスター（日英）・当日のタイムテーブル

-- Presentation Themes --

Date: Dec. 13th Fri. 16:30 – 19:30
Place：国際教育交流センター IEEC 1F Lounge

Times	Presenter	Title	Language
16:30		Opening remarks	
16:45	胡佳雨 HU Jiayu	雪男の冒険 －絵本作りの極意－ The Journey of an Ice Man -Create your own graphic novel-	英語 English
16:55	孫天 Sun Tian	中国のお化け文化 Ghost Culture in China	英語 English
17:15	長田恵梨栄 Erina Osada	見えない障害 The disability you cannot see	日本語 Japanese
		Coffee Break	
17:45	ペマ ドルジ Pema Dorji	国民総幸せ度とブータン Gross National Happiness : Bhutan	英語 English
18:05	ハシント コラン Jacinto Colan	技術の進歩がもたらす新時代の倫理的問題 Ethics in the time of Technology	英語 English
18:25	ライアン ニック ヤンバオ Ryn Nhick Yambao	文学、旅、茶 Literature, Travel and Tea	英語 English
		Coffee Break	
18:55	フレイザー ホルト Fraser Holt	パンの有効活用 －大学生のための十分な食事－ The Logistics of Bread as a Substantial Food for University Students	英語 English
19:15	ビエット ドゥック ブイ Viet Duc Bui	あなたは私と同じ型ですか？私はあなたのヒーローですか？ Are you my type, am I your hero	英語 English

プレゼンアワーの後、参加者やゲストの皆様にご参加頂き、楽しかったいろいろなお話が聞けるかもしれません。
Under the event, you are free to have a video and write. If you are free, come at the time of the session.

●当日の様子

４．　メンバー構成と心がけていること

●修士２年

嶋田耕太郎（国際開発研究科）

４年ほど活動に携わらせていただきました。毎回、個性豊かな講演者の方が参加してくださるので、運営としての立場だけでなく、イベントの参加者としても毎回楽しませていただきました。今後も活動を継続してくださると嬉しいです。

岩崎絵里加（情報学研究科社会情報学専攻）

今年度は、私もプレゼンターを務める機会があり、スタッフの視点とプレゼンターの視点の両方からプレゼンアワーを見ることができました。ただ自分の好きなことを話して、「プレゼン面白かったよ」って声をかけてもらえる機会は、講義や研究活動の中には

無い貴重な機会だと感じたので、プレゼンアワーが今後も続いていくといいなと感じました！

●４年生

山道知可（法学部法律政治学科）

　所属、学年、国籍を超えて様々な人が新しく繋がる、交流の場になればいいなと思っています。

●３年生

立野智也（理学部数理学科）

　発表者の方に参加して良かったと思っていただけるよう、こまめに発表者の方と連絡を取るなどのサポート面もしっかりとしていきたいです。

岩瀬友希（文学部人文学科）

　オープンな雰囲気で様々な分野の人と交流できる環境をつくるとともに、プレゼンテーションを通して新たな発見をもたらす場をつくることを目指します。

若杉美穂（文学部人文学科）

　担当するプレゼンターの方との繋がりを大切にしながら、皆さんに「楽しい」「来て良かった」と思えるようなリラックスした空間ができたらいいなと思っています！

●２年生

佐々木あみ（法学部）

　プレゼンターさんもオーディエンスで来てくださった方たちも、参加してよかったと思える会を作っていきたいと思っています！

鈴木有咲（法学部）

　プレゼンターと参加者が一体となれる暖かい雰囲気、毎回刺激で面白い素敵なお話に心を弾ませています。

小島未莉（経済学部）

　年齢、国籍、学部など関係なく、プレゼンを通して自由に意見の共有が出来る場を提供することができてやりがいを感じると共に、毎回のイベントで自分自身も多くの考えや新た発見をし、刺激を受けています。ゆるゆると、みんなで楽しくこれからもプレゼンアワーを作っていきたいです。また、もっとたくさんの人を巻き込んでいけたらいいなと思います！

●１年生

後藤瑠奈（農学部資源生物科学科）

　色々なジャンルの面白い話を気軽に聴ける素敵な機会だと思っています。もっと多くの方々に知ってもらえるように頑張りたいです。

名古屋大学ヘルプデスク　2019 年度　活動報告書

NU Help Desk 2019 Annual Activities Report

小島未莉

１．ヘルプデスクとは / About Help Desk

１．１．概要 / Introduction

ヘルプデスクは名古屋大学から公認を受けている、留学生支援・国際交流団体である。活動内容は受入活動、国際棟ラウンジでの活動、そしてイベント企画の大きく 3 つに分けられる。受入活動は、担当の宿舎で留学生の日本での新生活を支援しており、国際棟ラウンジでは留学生の質問の窓口になっており、留学生の学生生活や日常生活を支援したりすることで、日常的に留学生と交流をしている。また、定期的にイベントを企画し、多様な文化を持つ学生同士の交流を支援している。

Help Desk is an international exchange support group approved by Nagoya University. Our activity is mainly divided into 3 parts; supporting international students with their start of their lives in Nagoya every beginning of the semester, creating an environment where international students can ask questions anytime at International Center lounge and interacting daily, and organizing events through the year for cross-cultural interactions.

１．２．理念 / Mission

快適で充実した生活を留学生が送ることができるように、身近な存在として留学生を支援する。日本人学生や留学生など、多様な背景を持つ学生同士の、国際交流や異文化理解を支援する。

Our mission is to be close to the international students and be by their side when they need help in their daily lives. Moreover, we aim to promote an intercultural atmosphere by providing opportunities for everyone to meet not only new people but new cultures, values, and ideas.

１．３．構成員 / Members

名古屋大学の学部１年生から博士後期課程３年生、そして、留学生の総勢 87 名で構成されている。

Students all years of Nagoya University and international students in total of 87 members.

２．2019 年度活動

２．１．活動表

2019 年 3 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までの活動表である。
2019 年度に「リッツパーティー」を初めて実施した。
また、※印は新型コロナウイルス感染症のため中止になった活動である。

2018 年度

月日	内容
3 月　1 日	卒業生送別会
3 月 13 日	第 2 回ヘルプデスク説明会
3 月 14 日	地獄の細道（一般）
3 月 15 日	地獄の細道（一般）
3 月 19 日	第 3 回ヘルプデスク説明会
3 月 24 日	卒業生送別会
3 月 25 日	センター長顕彰授与式
	総長顕彰授与式

2019 年度

月日	内容
4 月　1 日	出張ヘルプデスク
	買い物ツアー
	夕食ツアー
4 月　2 日	出張ヘルプデスク
	ウェルカムパーティー
4 月　3 日	情報セキュリティ研修補佐
	経済学部新入生ガイダンス
4 月　4 日	ヘルプデスク紹介
4 月 11 日	春学期通常ヘルプデスク開始
4 月 19 日	合同説明会
	リッツパーティー
4 月 24 日	合同説明会
	お菓子会
5 月 15 日	合同説明会

2019 年度

月日	内容
7 月 21 日	春学期お疲れ様会
8 月　1 日	ヘルプデスク留学壮行会
8 月　6 日	春学期通常ヘルプデスク終了
8 月　7 日	第 1 回ヘルプデスク説明会
9 月　5 日	第 2 回ヘルプデスク説明会
9 月 11 日	第 3 回ヘルプデスク説明会
9 月 17 日	出張ヘルプデスク
	買い物ツアー
	夕食ツアー
9 月 18 日	出張ヘルプデスク
	情報セキュリティ研修補佐
	買い物ツアー
	夕食ツアー
9 月 19 日	情報セキュリティ研修補佐
9 月 20 日	ヘルプデスク紹介
	ウェルカムパーティー
9 月 24 日	出張ヘルプデスク
10 月　2 日	秋学期通常ヘルプデスク開始
10 月 25 日	ハロウィーンパーティー
11 月 11 日	ハロウィーンお疲れ様会
12 月 23 日	国際交流入門セミナー
1 月 14 日	国際交流冊子改定開始
1 月 15 日	新年会
2 月 10 日	秋学期通常ヘルプデスク終了
2 月 15 日	第 1 回ヘルプデスク同窓会
2 月 18 日	地獄の細道（推薦）
2 月 26 日	第 1 回ヘルプデスク説明会

	ピクニック
5 月 24 日	たこ焼きパーティー
6 月 15 日	名大祭フリーマーケット
6 月 16 日	名大祭フリーマーケット
	フリーマーケットお疲れ様会
7 月　5 日	花火

3 月　3 日	※第 2 回ヘルプデスク説明会
3 月 10 日	※第 3 回ヘルプデスク説明会
3 月 12 日	※地獄の細道（一般）
3 月 13 日	※地獄の細道（一般）
3 月 18 日	国際交流冊子改定終了
3 月 25 日	センター長顕彰授与式

２．２．ミーティング

主に通常ヘルプデスクや、イベント開催時期に週に 1 回ミーティングを行う。参加は自由であり、昼休憩中に実施する際は、昼食を食べながら、議題について話し合う。

年度	月日	場所	内容
2018 年度	3 月　6 日	国際棟 102 号室	春受入合同ミーティング
	3 月 15 日	レジデンス大幸	大幸受入事前合同ミーティング
	3 月 19 日	国際棟ラウンジ	春受入事前ミーティング
	3 月 22 日	レジデンス大幸	大幸受入事前合同ミーティング
2019 年度	4 月 11 日	国際棟ラウンジ	春受入振り返り、新歓リッツパーティー、NU Times、T シャツ作成、Instagram、新歓ピクニック
	4 月 16 日	国際棟ラウンジ	合同説明会、新歓リッツパーティー、T シャツ制作、写真肖像権、フリーマーケット
	4 月 23 日	国際棟 206 号室	自己紹介、たこ焼きパーティー、フリーマーケット
	5 月　7 日	国際棟ラウンジ	たこ焼きパーティー、フリーマーケット
	5 月 14 日	国際棟 206 号室	たこ焼きパーティー、フリーマーケット
	5 月 21 日	国際棟ラウンジ	たこ焼きパーティー、フリーマーケット
	5 月 28 日	国際棟ラウンジ	たこ焼きパーティー、フリーマーケット、T シャツ作成、花火
	6 月　4 日	国際棟 206 号室	フリーマーケット、花火
	6 月 11 日	国際棟 206 号室	フリーマーケット、花火、集合写真撮影
	6 月 18 日	国際棟 206 号室	フリーマーケット反省、花火、お疲れ様会
	6 月 25 日	国際棟 206 号室	花火、お疲れ様会
	7 月　2 日	国際棟ラウンジ	花火
	7 月　9 日	国際棟 206 号室	花火反省、お疲れ様会
	7 月 16 日	国際棟 207 号室	お疲れ様会
	8 月 30 日	国際棟 102 号室	秋受入合同ミーティング
	9 月　2 日	レジデンス大幸	大幸秋受入事前合同ミーティング
	9 月 11 日	国際棟 207 号室	秋学期受入事前ミーティング
	9 月 14 日	レジデンス大幸	大幸秋受入事前合同勉強会
	10 月　8 日	国際棟 206 号室	秋受入反省、ハロウィーンパーティー
	10 月 15 日	国際棟 206 号室	ハロウィーンパーティー
	10 月 18 日	国際棟 206 号室	ハロウィーンパーティー
	10 月 23 日	国際棟 206 号室	ハロウィーンパーティー

	10 月 29 日	国際棟 206 号室	ハロウィーン反省、ハロウィーンお疲れ様会 ヘルプデスク同窓会、Univents
	11 月　5 日	国際棟 206 号室	ハロウィーンお疲れ様会、 ヘルプデスク同窓会
	1 月 14 日	国際棟 206 号室	地獄の細道、新年会、部活サークル調査、 活動報告書、国際交流冊子改定、 ヘルプデスク同窓会、国際交流入門セミナー
	1 月 21 日	国際棟 206 号室	国際交流冊子改定、合同説明会、 地獄の細道、活動報告書、春受入
	1 月 23 日	国際棟 206 号室	合同説明会合同ミーティング
	2 月　6 日	国際棟ラウンジ	地獄の細道、活動報告書、 ヘルプデスク説明会、春受入、合同説明会

２．３．新規渡日交換留学生の受け入れ

交換留学受入室と協力しながら、春と秋の学期に名古屋大学に留学にする留学生の宿舎に入居する手続きの支援や、名古屋での生活に慣れてもらえるようなイベントを企画する。また、留学生同士の交流のみならず、日本人と留学生の交流も図る。

（１）受入合同ミーティング

小島未莉

日　程：　2019 年 3 月 6 日、8 月 30 日、
　　2020 年 3 月 4 日（新型コロナウイルス感染症対策のため中止）
場　所：　名古屋大学国際棟 1 階 102 号室

春と秋に実施される留学生受入活動前に、交換留学受入室教職員、異文化交流サークル ACE と、ヘルプデスクの 3 者で受入合同ミーティングを行い、ヘルプデスクからは毎回 2～3 人が参加する。主に受入活動の内容を確認し、留学生の宿舎入居後の活動や情報の共有を行う。団体間、教職員との間の事前の連携が、受入活動の際に活かされる。

（２）出張ヘルプデスク

小林志帆

日　程：　2019 年 4 月 1 日、4 月 2 日、9 月 17 日、9 月 18 日、9 月 24 日
場　所：　名古屋大学国際嚶鳴館 1 階ロビー、インターナショナルレジデンス大幸

留学生の入居先である名古屋大学国際嚶鳴館の１階ロビーにて窓口を設け、鍵、書類の受け渡しを行った。秋学期はレジデンス大幸の利用開始により、レジデンス大幸での留学生の受入活動を開始した。また、交換留学受入室より受託され受入活動を行っているため主に交換留学生の受入活動を行っていたが、秋受入では交換留学生以外の留学生の受入も実施した。名古屋大学に到着したばかりの留学生は多くの戸惑いや心配事を抱えている。そのような時に留学生の入居手続きや買い物の支援を行うことができるのはとても有意義であった。話をすることで留学生の不安を軽減させることができる上に、そのような状況であるからこそ早く仲良くなることができたからだ。ここで交流した留学生とはこのイベント以降も話をしたり、相談にのったりする事も少なくなく、留学生と良い関係を築くきっかけになった。また、この企画で多くの留学生にヘルプデスクを知ってもらうことができるため、他の活動への参加の促進にもなった。

以下に反省点を示す
・スケジュールの説明をどこまですれば良いのかの判断が難しかった
・朝が人手不足だった
このほかに「時間によって暇だった」という意見もあったが、この点には良い面もあった。確かに、留学生の到着は時間が重なることも多く仕事のない時間もあったが、そのような時間を利用してヘルプデスクのメンバー同士の仲を深めることができたように思う。ミーティング以外にメンバーが揃う場面が少ないため、互いに留学経験や目標を話したり、一緒にお昼ご飯を食べながら楽しく会話をしたりしてメンバーのことを知ることができる時間があったのは非常に良かったと感じた。人手不足に関してはどの宿舎が混雑するかは期によって異なるため、他団体との柔軟な人員交換が必要だと感じた。また、レジデンス大幸では初めての受入活動であったため、国際嚶鳴館にいるメンバー、レジデンス大幸の他団体の学生、交換留学受入室の教職員との連携が大事だと感じた。

（３）交換留学受入室留学生登録手続き補佐

小林志帆

日　程：　2019 年 4 月 1 日、4 月 2 日
場　所：　名古屋大学国際棟 1 階交換留学受入室

国際嚶鳴館やインターナショナルレジデンス大幸での交換留学生の受け入れと並行して、交換留学受入室で留学生の登録をする職員の補佐を行う。留学生への呼びかけ、交換留学受入室までの同行、交換留学受入室の繁忙時には登録業務の補助をする。登録業務の補助としては、留学生の名前のカタカナ表記の確認、在留カードのコピー、今後のスケジュールの説明が挙げられる。留学生は到着してすぐに交換留学受け入れ室を訪れるため、疲れていたり、体調が万全ではなったりするが、対面で確認や説明をすることで、その先のスケジュールや手続きに誤りを防ぎ、コミュニケーションの一環にもなる。

（４）買い物ツアー

小林志帆

日　程：　2019 年 4 月 1 日、4 月 2 日、9 月 17 日、9 月 18 日
場　所：　イオン八事店、イオンモールナゴヤドーム前

この企画は「日本語が読めないと、生活用品の買い物に苦労する」という留学生の声から生まれた。生活必需品を揃えていない留学生の当面の生活で必要となる食料・日用品の購入のため、国際嚶鳴館は近くのイオン八事店、インターナショナルレジデンス大幸は近くにあるイオンモールナゴヤドーム前まで徒歩で案内し、買い物の機会を提供した。参加者は新たに国際嚶鳴館やインターナショナルレジデンス大幸に入居した留学生 50-70 人ほどで、何がどこで購入できるかを日本語と英語で示したイオン八事店やイオンモールナゴヤドーム前のフロアマップを配布した。基本的にモール内は自由行動であったが、希望者にはヘルプデスクメンバーが付き添い、買い物についての質問に答えながら、モール内を案内した。

（５）夕食ツアー

小林志帆

日　程：　2019 年 4 月 1 日、9 月 17 日、9 月 18 日
場　所：　ダイニングフォレスト、北部食堂、イオンモールナゴヤドーム前

この企画は「初めて日本に来て、友達もいない、日本語もよく分からないので到着したその日の夕食に困る」という留学生の声から、2009 年 4 月に生まれた。大人数の参加が予想される場合は事前に食堂に大まかな人数を連絡する。当日は約 30 人の新規留学生が参加し、国際嚶鳴館のロビーに集合した後、大学の食堂まで徒歩で移動した。インターナショナルレジデンス大幸では、エントランスホールに集合してからイオンモールナゴヤドーム前まで歩いて向かった。日本語の表示のみで注文の仕方が分からない学生には、付き添って説明をした。食事をしながら、日本・名大を選んだ理由やお互いの国についての話などをして、交流を楽しんだ。ヘルプデスクメンバーと留学生、また留学生同士が交流できる良い機会となった。

（６）情報セキュリティ研修補佐

小島未莉

日　程： 2019 年 4 月 3 日、9 月 18 日、9 月 19 日
場　所： 名古屋大学全学教育棟本館 2 階サブラボ A、全学教育棟 A 館 A11 室

交換留学生のオリエンテーションの一部である、情報セキュリティ研修に補佐として協力した。本研修は情報セキュリティ意識の向上において重要であり、また本研修の受講を以て留学生は学内インターネットサービスや Wi-Fi が使用可能になる。全学教育棟のコンピューター室に留学生を誘導し。資料を渡してコンピューターが設置してある席に座ってもらう。資料に従いながら、情報セキュリティについての理解、確認テスト、メールボックスの設定、学内 Wi-Fi のログインなどを行ってもらった。作業が終わり次第解散となった。国際教育交流センターの教職員や学生交流課の職員と協力して、主に研修の補助や質問対応を行った。また、秋の受入の際には数日にわたり行われ、受入の時間と被ることもあったが、協力して人員を配置した。

（７）ウェルカムパーティー

鈴木風羽子

日　程：　2019 年 4 月 2 日、9 月 20 日
場　所：　名古屋大学国際嚶鳴館 1 階ロビー・多目的ホール、国際棟 1 階ラウンジ
参加者：　100 名程度

宿舎入居したての留学生同士の交流の場を設けることを目的に開催した。新規の留学生はもちろん、在学中の留学生や日本人学生も参加していただき、日本に来たばかりの留学生の心を和ませ、交際の輪を広げる手伝いが出来たように思う。4 月 2 日のパーティーの食事は、寿司・ピザ・惣菜・スナック・ジュース等であったが、ベジタリアンやビーガンの方のことも考慮して多様な種類を用意した。9 月 20 日のパーティーは、前回までとは違い夕方に行ったため、惣菜・スナック・スイーツ・ジュース等を中心とした軽食を用意した。このパーティーは入居日から間隔をあけたため、留学生の負担を減らすことができたと考えられる。開催場所も、今までは特定の宿舎のロビーであったが、大学構内に変更したため他の宿舎に住むより多くの留学生や日本人学生にも参加してもらえた。今後も日本に来たばかりの留学生の交流のきっかけ作りとして、またヘルプデスクという団体を多くの留学生に知ってもらうためにも、このようなパーティーは続けていきたいと考える。

春学期 ウェルカムパーティー 集合写真

秋学期 ウェルカムパーティー 集合写真

（８）ヘルプデスク紹介

小島未莉

日　程：　2019 年 4 月 4 日、9 月 20 日
場　所：　アジア法交流館アジアコミュニティーフォーラム

学期ごとに来日する交換留学生が必ず参加する生活オリエンテーションの中で、時間を割いていただきヘルプデスクの活動内容について説明を行った。説明の際はわかりやすいように PowerPoint を使用し、交換留学生の中には日本語の得意な人や苦手な人もいることも考えて、日本語と英語両方でのスライドを使用し、説明を行った。

２．４．国際棟ラウンジ

名古屋大学東山キャンパス国際棟１階ラウンジに、机 3 つ、椅子 6 つ、ホワイトボード 2 つ、物品庫１段からなるヘルプデスクコーナーがある。

（１）通常ヘルプデスク

安冨聡一郎

日　程：　2019 年 4 月 11 日－8 月 6 日、2019 年 10 月 2 日－2020 年 2 月 10 日
場　所：　名古屋大学国際棟 1 階ラウンジヘルプデスクコーナー及びその周辺

国際棟 1 階のヘルプデスクコーナーにヘルプデスクメンバーが、留学生からの質問や留学生活中の問題について対応した。質問は、留学生が日本に来て間もない学期の始めの 4 月、10 月それぞれ 1 か月間に集中していた。長期休み前後の時期には旅行に関する質問が目立った。また、質問対応に限らず留学生との積極的なコミュニケーションをはかった。

質問内容
・地下鉄の乗り方（時期：学期始め）
・先生の部屋がわからない
・旅行するのに交通手段の予約の仕方がわからない（時期：長期休み前後）
・日本語を教えてほしい
・服をどこで買えばいいのかわからない
・サークルを教えてほしい

（２）NU Times

小島未莉

日　程：　2019 年 4 月 8 日－6 月 13 日
場　所：　名古屋大学国際棟 1 階ラウンジヘルプデスクホワイトボード

内容
NU Times は名古屋大学へ留学生の役に立つ情報を少しでも多く提供したいという思いから、国際棟 1 階ラウンジのヘルプデスクのホワイトボードを用いて、毎回テーマを決めて日本語や英語で書き、Facebook に定期的に発行している情報媒体である。2016 年 8 月 1 日から 2017 年 2 月 3 日まで合計 49 号発行されていた Today’s Japan を参考にその季節やイベントに合わせてテーマを決めた。

気づき、改善点など

　ラウンジに面しているため、さまざまな人に見てもらう機会になっている。また、写真を撮っていく人、お褒めの言葉をくださる先生、内容について質問をしてくれる人がいるため、書いていてやりがいを感じることができた。しかしその一方で、更新が滞ってしまうことが多いことが課題である。特に今年度は春学期が始まる前に書く日程、そして担当を決めるなど計画をして書き始めたが、秋学期までつなげることが出来なかった。そのため、来年度は継続を目標に、内容も充実させ、周りのメンバーを巻き込み、内容を幅広くしたり、実際に留学生にもそれぞれの国について書いてもらったりするなど、成長していけるように努めたい。

発行日（Facebook 投稿日）

Vol. 1：2019 年　4 月　8 日　お花見　Cherry Blossom Watching
Vol. 2：2019 年　4 月 16 日　部活・サークル活動　Sports & Cultural Activities
Vol. 3：2019 年　4 月 23 日　ごはん、大学内のどこで食べる？　Where to eat on campus?
Vol. 4：2019 年　6 月 13 日　大学内で印刷できる場所は？　Where to use copy machines
Vol. 5：2019 年　6 月 13 日　名古屋のスポーツチーム　Sports Teams in Nagoya
Vol. 6：2019 年　6 月 13 日　名大祭　Nagoya University School Festival
Vol. 7：2019 年 10 月 16 日　名古屋雨の日スポット　Recommendation for rainy days
Vol. 8：2019 年 10 月 16 日　夏祭り・花火大会特集　Summer festivals・Fireworks festivals

NU Times Vol. 1

NU Times Vol. 6

２.５．イベント

（１） 説明会

小島未莉

日　程：　2019 年 3 月 13 日、3 月 19 日　　春学期ヘルプデスク説明会
　　4 月 19 日、4 月 24 日、5 月 15 日　　合同説明会
　　8 月　7 日、9 月　5 日、9 月 11 日　　秋学期ヘルプデスク説明会
　　12 月 23 日　　国際交流入門セミナー
　　2020 年 2 月 26 日、※3 月 3 日、※3 月 10 日　春学期ヘルプデスク説明会
　　※新型コロナウイルス感染症のため、開催中止となった活動

場　所：　名古屋大学国際棟
参加者：　合計約 70 名－100 名

各学期開始前にヘルプデスク説明会、4 月、5 月にはコーヒーアワー、プレゼンテーションアワーと合同説明会、12 月、1 月には 5 回にわたり国際交流セミナーが開催され、そのうちの 1 回にヘルプデスクのメンバーが参加した。

（２） Instagram 開設

魚住晴香

ヘルプデスクでの活動をより多くの方に知っていただきたいと思い、2019 年度から SNS での広報をより活発に行うよう心がけた。その一つが Instagram である。アカウントを新設し、日々の活動の様子やイベントの告知などを発信している。ストーリー機能や、写真を中心に投稿できる Instagram の特性を生かして、私たちの活動をよりわかりやすく、気軽に知ってもらうことを目的としている。また、写真を載せるにあたり、掲載確認をとるなど、プライバシーの保護にも努めている。フォロワーも 100 人を超え、今後さらに多くの人に知っていただけるように、来年度も継続して発信していく予定である。

（３）Ｔシャツ制作

魚住晴香

ヘルプデスクでは、今年度から活動の際に使用するオリジナル T シャツを作成した。デザインは、ヘルプデスクのウェルカムボードに使われている切り絵をモチーフにし、色やフォントは、Japanese blue と呼ばれる藍色に近いものを使用した。フリーマーケットなどの行事で着用し、私たちの活動をより視覚的にも伝えられるようにした。写真は、T シャツを着て集合写真を撮った際のものである。

2019 年 6 月 11 日撮影

（４）リッツパーティー・ピクニック・お菓子会

小島未莉

日　程：　2019 年 4 月 19 日、4 月 24 日、5 月 15 日　合同説明会終了後
場　所：　名古屋大学国際棟 1 階ラウンジ、第 1 グリーンベルト

3 回開催された合同説明会のあとに、毎回新入生歓迎イベントとしてリッツパーティーとピクニックなどを企画した。リッツパーティーはリッツクラッカーにジャムやチーズを自由に乗せて食べた。特に小豆を乗せることで名古屋風を再現することが出来た。各々が工夫してリッツクラッカーを堪能することができた。4 月 24 日に開催予定のピクニックは雨のため国際棟 1 階ラウンジにてお菓子会に変更した。ヘルプデスクメンバーとの交流のみではなく、留学生にも声をかけることで、実際にヘルプデスクの活動を体験してもらうとともに、日本人学生と留学生との交流を図った。

（５）たこ焼きパーティー

今井美希・平田理々奈

日　程：　2019 年 5 月 24 日
場　所：　名古屋大学国際棟 1 階ラウンジ
参加者：　70 人程度

学生間の異文化交流と留学生の日本文化体験のため、たこ焼きパーティーを主催した。5 月 24 日に国際棟 1 階ラウンジで午後 6 時から 3 時間ほど実施した。準備に当たっては、国際教育交流センターの教職員に前もって相談し、場所の確保や関係者への周知などでご支援をいただいた。ヘルプデスクのスタッフで協力し、器具・材料の調達や、Facebook・Instagram・チラシを用いた学生への宣伝を 1 週間前から行った。当日、参加者はたこ焼き器ごとに 4 つほどのグループに分かれ、用意した材料を用いて自ら様々な種類のたこ焼きを作ってもらった。70 人以上の日本人学生・留学生が参加し、たこ焼き作りを通じた国際交流の機会を提供することが出来た。また、一部の参加者が準備・片付けを積極的に手伝ってくれていたことが印象的だった。参加者・スタッフともに好評だったので、来年度また同様のイベントを行うことを検討している。

たこ焼きパーティーの様子

（６）フリーマーケット

田邊ひかり

日　程:　2019 年 6 月 15 日、6 月 16 日
場　所:　名古屋大学文学部棟前

今年は、学内関係者に出店物品の提供をお願いし、ヘルプデスクのみでフリーマーケットを行った。他団体と合同で行った去年とは違ったものの、多くの利益を上げることができた。そこから花火大会の活動資金を獲得することができ、花火大会を参加費無料で開催することができた。反省点としては、「HELP　DESK」の看板が見づらく、また、風によって取れてしまったこと、箱に入った物品を毎回開けて紹介する必要があったこと、などが挙げられる。
物品の準備だけでなく、看板や物品の並べ方なども工夫していきたい。

（７）花火

天田裕文

日　程：　2019 年 7 月 5 日
場　所：　矢田川沿い

砂田橋の河原で花火大会を行った。集まったのは留学生・日本人併せて 60 人～70 人ほどで、留学生と日本人の比は 7:3 ほどであった。運営費は名大祭でのフリーマーケットの収益約 30,000 円のうち 20,000 円を花火費に、2000 円を雑費に充てた。今回はフリーマーケットの収益だけで十分に花火大会を運営できると考えたため日本人と留学生の参加費は共に無料とした。事前準備としては、花火の注文、ポスターや SNS などでの広報、ゴミ袋やライターなどの買い出しを行った。当日は国際棟１階に集合し、参加する留学生と一緒に会場まで行った。浴衣や甚平を着てくる留学生もおり日本文化の経験を楽しみにしてくれていた。花火大会のために用意したのは、手持ち花火と小規模の打ち上げ花火である。打ち上げ花火は安全面に十分気をつけて、参加者から離れたところで打ち上げた。参加者は手持ち花火をしながらおしゃべりをしたり写真を撮ったりして多くの人と交流し、互いの仲をさらに深めていた。私たちヘルプデスクの学生は、花火の追加購入に加えて、遅れてくる留学生の受付や花火の開封、参加者への花火の配布、打ち上げ花火の打ち上げ、写真撮影など主に裏方に徹し、時々交代制で参加者に交じって花火を楽しんだ。手持ち花火を友人と楽しむのは留学生の母国では珍しいようで、花火を非常に楽しんでいた。開催者側としても日本の夏の風物詩をこのように楽しんでくれて嬉しい限りであった。またヘルプデスクの学生も含め留学生と交流したい日本人学生も参加しており、国際交流の良い機会になったと考えている。

花火の様子

（８）ハロウィーンパーティー

早川佳太

日　程：　2019 年 10 月 29 日
場　所：　名古屋大学国際棟 1 階ロビー・ラウンジ
参加者：　100 名程度

当日の流れ
16:00　準備・買い出し
17:30～　更衣室解放
18:30～　ハロウィーンパーティー開始
19:00～　企画 1
19:30～　企画 2
20:15～　企画結果発表
20:25～　集合写真
20:30～　片付け開始
21:00　片付け終了、解散

2013 年度から始まり 7 回目となった、毎年多くの学生が参加する秋学期最大のイベントである。参加者それぞれが気合の入った個性的な仮装を楽しんでいた。そして、学生や先生方に審査員となっていただき仮装コンテストを開催し、３位までの入賞者には賞品を贈呈した。また、名古屋大学の学生である DJ を招き、軽食やドリンクを用意し、メンバーによる企画を実施した。お酒の提供時には年齢確認を徹底し、手首にドリンクバンドを巻いてもらい、提供するアルコール度数の上限を定めるなどして、メンバーや参加者がルールを確実に認識できるようにした。当日までにミーティングを重ね、イベントのスムーズな進行を目指した。

気づき、改善点など
前年度、参加者が少なかった反省から、今年度は多くの方法を用いて広報を行った。その甲斐もあって全体の参加人数は大幅に増加したが、G30 学生や研究生の人数は依然として少なかった。より多くの手段を用いて、早くから広報を行うことが必要である。ランウェイで行った仮装大会は非常に盛り上がり、シールによる投票もスムーズに行えた。アルコール飲料の購入量についても丁度よかった。受付の際、アルコール飲料を飲む人と飲まない人の処理が煩雑であった。列を分けるなど改善が必要である。全体としては、具体的な準備及び広報を始めるのが遅かったことが問題である。具体的には１か月以上前から準備について考えるべきであり、毎回のミーティングまでに議題を決め、ミーティング内で全て決めてしまうということも必要である。

告知ポスター

ハロウィーンパーティーの様子

（９）第１回ヘルプデスク同窓会

小島未莉

日　程：　2020 年 2 月 15 日
場　所：　名古屋大学国際棟 1 階ラウンジ
参加者：　52 名

ヘルプデスク設立以来スーパーバイザーを務めてくださった国際教育交流センターの野水先生のご退官に合わせて、同窓生を主導に初めて同窓会を開催した。同窓生との交流を通して、学生時代、留学体験、これまでのヘルプデスク活動のお話を聞いたり、就職についての話を聞いたりした。今のヘルプデスクがどのように築かれたのか、これまでの足跡をたどることができて、感慨深く感じるとともに、「留学生と一緒に楽しみたい」という昔からの考えを引き継ぎ、これからも活動していけるようにしたいと感じた。この 1 回のみではなく、これからも定期的に開催していきたいと思う。

ヘルプデスク同窓会集合写真

（１０）地獄の細道

小島未莉

日　程：　2019 年 3 月 14 日、3 月 15 日
　　2020 年 2 月 18 日、※3 月 12 日、※3 月 13 日
　　※新型コロナウィルスの影響で中止
場　所：　名古屋大学豊田講堂ロビー

他の国際交流団体と共に地獄の細道に出展していた年もあったが、2018 年度より単独で正式に出展し始めた。今年度 3 月の地獄の細道は新型コロナウイルス感染症への対応から中止となった。細道を通る 1 年生にチラシを配り、興味を持ってもらう学生にはブースで PowerPoint を用いて説明を行った。地獄の細道はすべての新入生が通過するイベントなので、国際交流に興味がある学生の目に留まるいい機会でもあり、宣伝効果は大きいと期待しているため、来年度以降も継続して行っていきたい活動である。

地獄の細道の様子

３．資料

３.１．団体設立

設立年月	2005 年 4 月
設立場所	名古屋大学留学生センター1 階 105 号室海外留学室 (名古屋大学国際棟 1 階)
設立教員	名古屋大学留学生センター短期留学部門助手 筆内美砂 (名古屋大学国際機構国際教育交流センター国際プログラム部門)
設立協力	名古屋大学留学生センター教育交流部門 (名古屋大学国際機構国際教育交流センターアドバイジング部門)

３.２．沿革

2005 年度	春学期開始前	学生が参加を呼びかけられる
		参加希望の学生に対して説明会が開かれる
	4 月	「通常ヘルプデスク」開始（2 週間に渡り実施）
	9 月	ヘルプデスクを留学生センターラウンジに移動
2006 年度	4 月	活動期間を 3 週間とする
2008 年度	秋学期活動期間後	活動期間後にイベントを実施したいという要望を出す
		「書き初め会」開催
	秋学期後	窓口を国際嚶鳴館に設置したいという希望を出す
2009 年度	4 月　6 日	国際嚶鳴館「出張ヘルプデスク」開始
		ガスト杁中店「夕食ツアー」開始
2010 年度	6 月　5 日	名大祭「フリーマーケット」開始
2011 年度	4 月　4 日	生協ダイニングフォレスト「夕食ツアー」開始
	9 月 27 日	国際嚶鳴館「ピザパーティー」開催
2012 年度	4 月　6 日	国際嚶鳴館「ウェルカムパーティー」開始
2013 年度	11 月　1 日	国際棟ラウンジ「ハロウィーンパーティー」開始
2016 年度	6 月 29 日	Facebook ページ「NU HelpDesk」開始
	8 月　1 日	国際棟ラウンジ「Today's Japan」開始
2018 年度	5 月 14 日	国際棟ラウンジ「たこ焼きパーティー」開始
	10 月　5 日	国際棟ラウンジ「NU Times」開始
	11 月 20 日	第 1 グリーンベルト「ピクニック」開始
	2 月 25 日	平成 30 年度名古屋大学総長顕彰採択
2019 年度	4 月　9 日	Instagram「nagoyaunivhelpdesk」開始

4 月 19 日	国際棟ラウンジ「リッツパーティー」開始
2 月 15 日	国際棟ラウンジ「第 1 回ヘルプデスク同窓会」実施

留学のとびら　2019 年度　活動報告書

文責：若杉　美穂

留学のとびらについて

留学のとびらは、名古屋大学学生(以下名大生)の留学支援を目的とし、実際に名古屋大学の留学プログラムに参加した留学経験者によって運営されている名古屋大学海外留学室公認の学生団体である。名古屋大学の各種留学プログラムの中でも特に、一学期間以上の長期留学である交換留学のための支援を主な活動内容としている。多様な留学経験を持つメンバー同士、目的達成に向け活発に話し合い、企画を立て、時には海外留学室と協力しながら実行に移すといった自律的かつ活発な姿勢が団体の特徴である。

留学のとびらの理念

１.世界を知り世界に通用する名大生の輩出

名古屋大学ではこれまで以上に多数の学生を留学に輩出することを目標としている。本団体では留学を希望する名大生に情報収集の場を提供し、また留学を検討していなかった学生にも留学の魅力を伝え、多くの名大生の留学のきっかけになるような場を創造することで、将来的に世界に向けて活躍する名大生の育成の機会へ繋げる。

２.交換留学コミュニティの形成

他大学と比較すると、本学の交換留学経験者の繋がりは薄い。それを改善するため、留学が決まった学生から帰国した学生までを対象に懇親会や交流会、また SNS を活用したネットワークを運営している。

３.メンバーの個性とリーダーシップの発揮

メンバーの一人一人が個性とリーダーシップを発揮し、互いの成長を刺激し高め合う。多様な価値観を相互に尊重し合い、メンバーの大学生活の充実を支える笑顔あふれる団体であり続ける。

設立の経緯

2009 年に留学より帰国した学生が設立した「留学のとびら」は、2019 年で設立 11 年目を迎えた。(2010 年より主要メンバーが卒業・進学等で団体運営が困難になったため海外留学室が主体となり、2010 年 12 月に新たにメンバーを募集して再設立)。2018 年度も同状況により運営を停止していたが、留学中の学生が中心となり 2019 年４月に再始動した。このように、留学を終えたメンバーが中心となって構成されるため、在籍できる期間も短く流動的であるため、継続した活動を維持するためのシステム構築が課題と感じている。

メンバーについて
現在は帰国したメンバー４名、留学中のメンバー１名、2020 年度派遣予定のメンバー２名の計７名で活動している。

情報学研究科複数系科学専攻１年　渡邉 智基（オーストラリア・アデレード大学）
教育学部人間発達科学科４年　野場 彩乃（アメリカ・ミネソタ大学）
文学部言語学専攻４年　増田 浩子（シンガポール・南洋理工大学）
文学部言語学専攻４年　若杉　美穂（イギリス・ウォリック大学）
工学部マテリアル工学科３年　深見 勇馬（アメリカ・フロリダ大学交換留学中）
文学部英語学専攻２年　森 彩花（アイスランド・アイスランド大学交換留学内定）
情報学部人間・社会情報学科１年　笹本　宗歩（ノルウェー・オスロ大学交換留学内定）

2019 年度活動状況

2019 年５月	定期相談会『留とびランチ』始動
	LINE アカウント開設
	Facebook グループ開設
８月	セミナー『夏休み直前・英語学習相談会』
	ワークショップ『留学計画ワークショップ』
10 月	イベント『名大留学ミュージアム』
	セミナー『留学とお金と就活と』
11 月	交換留学応募書類の添削および二次審査面接対策
2020 年２月	ワークショップ『留学計画ワークショップ』

活動内容詳細
◎留とびランチ
2019 年５月から、毎週木曜日に気軽な留学相談会『留とびランチ』を行っている。国際棟の一室で、昼食を食べながら気軽に留学に関する相談を受けるイベントである。多い時では４，５人の学生が訪れ、メンバーで留学に関する相談や質問に対応している。
10 月, 11 月は交換留学を目指す学生たちに対する個別の留学計画支援に従事した。学生同士という距離の近い立場を活かして話を聞く中で、留学の目的が明確化できるようにした。相談・支援をした学生はのべ 31 名にのぼる。

◎Facebook グループ
これまで繋がりの薄かった交換留学生同士の交流を促進するため Facebook グループを開設。2015 年度秋派遣の学生から 2020 年度秋派遣予定の学生まで総勢 80 名が参加している。本グループでは先輩からのお役立ち情報の発信や懇親会の呼びかけ（本年度は４度開催、12 月は 17 名が参加）が行われている。留学経験者と留学予定者をつなげるコミュニティとしての役割を果たしている。

◎英語学習相談会

夏休みを前に英語学習方法について紹介するセミナーを開催した。

日時：８月１日（木）

場所：国際棟 308 教室

参加人数：５名

◎IELTS 講座内ワークショップ

2019 年８月には、海外留学室が行う IELTS 講座の一環として留学計画ワークショップを開催した。交換留学を目指す学生たちに対して後悔の無い留学計画を立てる支援をするため、メンバーによる講義と自作のワークシートを使ったワークを行った。23 人の学生が参加し、事後アンケートでは「とても参考になった」が 20 人、「少し参考になった」が３人という大変高い評価を頂き、２月 28 日に再び同ワークショップを開催した。

日時：2019 年８月 30 日（金）／2020 年２月 28 日（金）

場所：国際棟 207 教室（両日）

参加人数：23 名／８名

◎名大留学ミュージアム

2019 年 10 月、名古屋大学中央図書館にて留学写真の展示会『名大留学ミュージアム』を開催した。留学中または帰国後の学生から集めた留学中の印象的な写真を５時間にわたって展示すると共に、時間別で交換留学帰国生によるパネルディスカッション、メンバーによるミニセミナーを開催した。75 名の学生が来場し、展示やセミナーを楽しんでいた。また、海外留学室の先生をお招きした相談ブースでは、そのまま留学の相談をする学生も見られ留学への第一歩を踏み出すきっかけになった学生もいた。

日時：10 月９日（水）

場所：中央図書館２階ディスカバリースクエア

参加人数：75 名

◎留学とお金と就活と

留学ミュージアム後の企画として、留学を現実味あるものに感じてもらうため、留学の障壁の大きな要因となる奨学金と就職活動にテーマを決め、体験談を交えたセミナーを開催した。

日時：10 月 23 日（水）

場所：国際棟 301 教室

参加人数：10 名

◎各種ＳＮＳ

また今年度は本学での留学機運を高めるため、公式 LINE を始動。月に１度の情報発信や個別での質問対応を行っている。また Facebook ページの内容も大幅見直しを行い、留学経験者執筆の体験談・座談会やインタビュー記事の発信など、これまでなかなか表に出ることのなかった留学のリアルな声を届けている。

来年度へ向けて

来年度は今年度と同様、留学を志す学生の支援を充実させると共に、留学決定後・派遣前の学生支援や留学コミュニティの形成に力をいれていきたい。具体的には、交換留学が決定した学生と名古屋大学に現在留学中のＮＵＰＡＣＥ生とを繋ぐイベントを６月に実施予定である。また、留学仲間の繋がりを続けるべく、オリンピックのライブビューイングや英語を使ったイベントに一緒に行く機会を設けるなど、今年度にもましてさらに精力的に活動していきたい。

異文化交流サークル ACE　2019 年度　活動報告書

文責：林貴輝、川原出泰基、梶原清加

１．団体紹介

（１）　活動概要

ACE（Action group for Cross-cultural Exchange）は、「交流・架け橋・ボランティア」を三大理念に掲げ、新入留学生をサポートすることを主な活動とするサークルである。1988 年 6 月に結成され、30 年以上の歴史を持つ。現在は、留学生の日本での新生活をサポートするための受け入れ活動を主軸とし、さらに留学生と日本人学生の交流イベントを定期的に企画・運営している。普段の活動としては、毎週月曜日の夜にインターナショナルレジデンス東山の会議室を借りて、ミーティングを行っている。ミーティングではイベントについての連絡や話し合いを行い、進化していく団体を目指して、日々活動を続けている。

（２）　組織編成

学部 1 年生から大学院生まで、メンバーは総勢 100 名以上にのぼる。メンバーの大半は名古屋大学生で構成されているが、南山大学、金城学院大学、椙山女学園大学、名城大学等の近隣の大学からもメンバーが集まっており、全体の人数も年々増加傾向にある。団体の中心学年は学部 2 年生であり、毎年 6 月に行う「まじめ合宿」で代替わりを行っている。2019 年 6 月からは「31 期」（現 2 年生）が中心となり運営をしている。31 期の役職の種類、人数、内容は以下の通りである。

役職	人数	内容
代表	1	ACE 全体の活動のとりまとめ、毎週のミーティングの進行。（代表副代表制の復活）
副代表	2	ACE 全体の活動のとりまとめ、代表の補助。
会計	2	ACE 資金の管理、収支のデータをまとめる。
SNS	3	Facebook、Instagram、Twitter の管理、広報を行う。
メール	2	ACE メール（主に渉外用）、メーリングリスト（ACE 内での情報共有用）の管理。
ホームページ	2	ACE のホームページの更新・管理。

議事録	2	毎週のミーティングの議事録をとり、メーリングリストでの共有。
CCH 管理	1	CCH（レジデンス東山内の部屋）の管理。
OneDrive	1	歴代の運営の情報が保存・共有しているシステムの管理。
暦	2	ACE メンバーへのイベント情報の発信。
幹事	2	ACE メンバー同士での交流の場を作る。

（３）　受け入れ活動

ACE の活動の中で最も重要とされているのが、この受け入れ活動である。受け入れ活動とは、4 月と 10 月に新たに名古屋大学に入学する留学生の新生活をサポートする様々な活動の総称である。現在行っている具体的な活動には、レジデンス受け入れ（東山・山手・妙見・大幸）、キャンパスツアー、バザー（NUFSA と共催）、ウェルカムパーティー（NUFSA 支援）、遠足、パンフレット作成などがある。特にパンフレット作成は ACE が独自に行なっている活動の１つであり、留学生が日本で生活する上で必要となる情報を載せることができるよう年々改訂を重ねている。これらの活動を通し、留学生の支援だけでなく、留学生同士または留学生と日本人学生が交流する場を提供できることから、ACE メンバーの活動実施意欲も高い。

２．2019 年度 ACE 活動報告

（１）　年間イベント一覧

4 月　受け入れ活動 新歓活動
5 月　受け入れ活動 5 月企画
6 月　まじめ合宿
7 月　七夕パーティー Water Fighting
8 月　木浦 キャンプ
9 月　BBQ 受け入れ活動
10 月　受け入れ活動 ハロウィンパーティー 秋新歓パーティー
dinner together month
11 月　31 期企画 ACE PLAY TIME 紅葉 ポットラックパーティー
12 月　ウィンターパーティー 正月準備企画
1 月　名古屋飯を作る会
2 月　バレンタイン企画 NCO 新歓活動
3 月　新歓活動 受け入れ活動

（2）　　イベント概要

ACE が最も大切にしている活動は留学生の受け入れ活動であるが（前述）、留学生との交流の場を継続的に確保したり、留学生に日本文化を紹介したり、ACE の活動の向上のために設けられたりする企画など、一年を通じて絶え間なく活動を行っている。本年度の各イベントから一部抜粋して、概要をここにまとめることにする。

〇まじめ合宿

ACE の中心学年が 3 年生（30 期）から 2 年生（31 期）に交代する 1 年の中で最も ACE メンバーが多く集まるイベントである。本年度は 80 名を超える参加があった。この合宿にあわせて、毎年 ACE やメンバーに関する冊子も作られている。新入生と交流を深めるレクリエーションや新旧中心学年のメンバーが挨拶をする時間もある。にぎやかで楽しいお祭りのような時間の中に真剣に ACE の活動に向き合う時間もあり、長く続く ACE の歴史を感じられる合宿である。

〇七夕パーティー

１年生が主体となって計画する最初のイベントであり、毎年多くの参加者を集めるイベントである。名古屋大学インターナショナルレジデンス東山の一階を借り、流しそうめん、わたあめ、ベビーカステラをふるまったり、射的や折り紙が体験できるブースを用意したりした。多くの留学生が参加し、にぎやかなイベントとなった。また、昨年に引き続き今年も事前に浴衣買い物ツアーを企画した。七夕企画当日に着る浴衣を留学生と ACE メンバーが一緒に大須に買いに行くという企画である。

〇キャンプ

ACE のイベントの中で唯一、留学生と共に泊りがけで行うイベントである。愛知県民の森にて飯盒炊爨やキャンプファイヤー、肝試しといった企画を行い、留学生と共に一泊二日のキャンプを楽しんだ。天候にも恵まれ、ハイキングや水遊びも楽しむことができた。本年度は留学生・ACE メンバー合わせて約 60 名が参加し交流を深めた。

〇ハロウィンパーティー

留学生も ACE メンバーも仮装をして行うイベントである。本年度はフレンドリイ南部を借りて行なった。集まった参加者同士が互いの仮装の写真を撮りあったり、チーム対抗のゲームを行なったりし、非常に盛り上がったイベントである。立食形式にすることで、多くの留学生と交流できた。

〇秋新歓パーティー

本年度初めて行なったイベントである。春に部活やサークルに入らなかった人や新しくサークルを探している人、留学帰りの人などに向けて、ACE を紹介しようという意図で行われた。約 15 名の新規生が参加し、既存生と交流を深めた。新規生の中には現在も ACE の活動に携わっているメンバーもおり、ACE の活動において大変意味のある企画となった。

〇ACE PLAY TIME

f-ACE time という誰でもイベントを開催できる自由な企画枠で行われたイベントである。川名公園に集まり、鬼ごっこやドッジボールなどの誰もがやったことのある遊びを通して留学生と交流した。多くの留学生、ACE メンバーが参加し、童心にかえって運動を楽しんだ。

〇ポットラックパーティー

昨年度に引き続き行われたイベントである。留学生、ACE メンバーがコープ本山で各自料理(主に各国の料理)を持ち寄ってシェアした。一緒に料理をしたり、様々な国の料理を食べたりして交流を深めた。食を通して異文化を感じることができた。

（３）　今年度の活動目標

本年度の活動目標は「留学生にボランティア精神」、「ACE に愛をもって運営」である。

前者は、留学生を第一に考えて ACE の活動を行うという目標を示したものである。留学生が日本に来るタイミングに合わせて dinner together を多く開催する dinner together month(後述)を開催したり、より良いイベントをつくるためイベントの最後に留学生に向けたアンケートを実施したりした。また、ACE の活動を通して仲良くなった留学生に直接イベントの感想を聞いたり、どのようなイベントがあったら参加したいか尋ねたりした。このように留学生の意見を取り入れることで、留学生の需要に応えたイベントづくりができたと考える。

後者は、自分たちが ACE の活動をより良いものにするという意識を持ち、主体的に運営に取り組むという目標を示したものである。今年度の活動主体である 31 期（2 年生）は、意見を強く主張する人は少ないが、他者の意見を柔軟に取り入れられる人が多い。そのため皆で意見を出し合い、それぞれの意見の良いところを組み合わせて ACE の活動に取り入れてきた。そのため本年度の活動には、メンバー一人一人が ACE をより良くしようと考えた結果が表れているといえる。また、31 期は

例年に増して留学生との交流が深く、留学生のことをよく考えている学年である。前者と重なる部分ではあるが、留学生に重きを置いた運営をすることができたと考える。

（４）　今年度の新たな取り組み

今年度の新たな取り組みとして、dinner together month と秋新歓が主に挙げられる。

①　Dinner together month について

Dinner together とは、留学生と一緒に夕食を食べ、お喋りするという、ACE のイベントの中でも最もシンプルなイベントの１つのことである。従来であれば月１回程度行われているイベントであり、あまり大きくは取り上げられていなかったイベントではあった。ただ、留学生が ACE というサークルの存在を知り、それ以降のイベントへの参加に促すことができるという点から、今年度ではこのイベントの重要性を見直し、各受け入れ期の１ヶ月程度、大幅に開催回数を増やす「dinner together month」を作るに至った。

②　秋新歓について

秋新歓とは、夏休み明けに行う新歓活動のことを指す。秋新歓を行う狙いは春にサークル活動をアピールし切れなかった新入生に対して、ACE の活動内容を告知することだが、その他にもう一つ狙いがある。それは、留学終わりの学生に ACE というサークルの存在を知ってもらうということである。ACE が留学生に対してイベント等のボランティア活動を進めるにあたっては、留学生と関わることにより深い理解を示してもらえる人が貴重な存在となると考えられる。そこで、秋留学から日本に帰ってきた学生向けにアピールをする目的で秋新歓を実施した。

３．来年度に向けて

ACE では今年度、dinner together month に挙げられるようにいろいろな留学生に ACE の存在を知ってもらい、イベントに来てもらえるような工夫をしてきた。ただここ数年、ACE と同じ国際交流を主とするサークルがいくつかできてきている中で、いかに ACE が留学生と関わり、サークル運営をしていくかが試されている。OBOG が残したものを引き継ぐのか、あるいは他団体と連携して全く新しい仕組みを作り出していくのか。いずれにせよ、これからも ACE が留学生にとっても、メンバーにとっても居心地の良い場所であり続けてほしいと願う。

名古屋大学留学生会

Nagoya University International Student Association (NUFSA) 2019

Tingfang

1. About NUFSA 名古屋大学留学生会について

Nagoya University International Student Association (NUFSA) is a diverse and cultural student led organization founded by Nagoya University in 1985. Primary objective is to bring together all international students enrolled in Nagoya University and visiting scholars. Our mission is to create a sense of community by facilitating intellectual, cultural, and social exchanges among international students, faculty and staff. We also foster understanding of diverse cultures and help to develop a cosmopolitan outlook among foreign students, and between foreign students and Japanese students. Finally, we serve as support to incoming international students in adjusting to their new cultural setting in Nagoya and creating opportunities for networking.

2. Name 名前

NUFSA is short for Nagoya University International Student Association (名古屋大学留学生会). It originally stood for Nagoya University *Foreign* Student Association. However, in 2015, it was decided that the association would be renamed to Nagoya University *International* Student Association (while keeping its initial abbreviation – NUFSA) to embrace global and international student base of Nagoya University.

3. Executive Board

- President: Tingfang Que (China)
- Vice President: Ryn Yambao (Philippines)
- Treasurer: Chai An Hao (Malaysia)
- Secretary: Hai Nguyen (Vietnam)
- PR Officer: Luiza Nakamura (Brazil)

4. Membership

NUFSA membership is free of charge and can be granted to any international students (foreign and Japanese) enrolled in Nagoya University, regardless of their nationality, major, schools, degrees, etc. To be able to join the group and participate discussion for existing events or to bring new ideas all is necessary to do is to register at nufsa.nagoya@gmail.com.

5. Networking

Please find us @:

Facebook: https://www.facebook.com/nufsajp/
Email: nufsa.nagoya@gmail.com
Instagram: https://www.instagram.com/nufsa.nagoya_university/

6. Support

NUFSA is receiving support from various organizations. We are financially supported by Nagoya University Foreign Student Support Association and we regularly receive technical or organizational support from Nagoya University International Student Advisor Office. We also collaborate with volunteer groups (ACE, YWCA, Tomodachi-kai) for organizing activities such as bazaars, welcome parties, etc.

7. Activities

❖ Orientations for Incoming International Students

NUFSA participates in orientations for incoming international students held in student residences (International Residence Higashiyama, International Ohmeikan House, International Residence Yamate, Ishida Memorial International Residence Myoken, Idaka-cho Residence, Foreign Student House). The purpose is to introduce ourselves to newcomers and give them first necessary information and tips for daily living and university activities.

- Bazaar

Every year in April and October, NUFSA, in collaboration with ACE, Tomodachi-kai and YWCA, holds bazaar at Nagoya University International Residence Higashiyama. The bi-annual NUFSA International Students' Bazaar is an absolute goldmine of quality secondhand home necessities (tableware, furniture, electrical appliances) at extremely cheap prices.

- Welcome party

We organize welcome party, which is a platform for old students to welcome new students and it is also an avenue for interaction, networking and social exchange of ideas, experiences and culture. This is the first foundation towards building strong lasting friendship in most cases. We offer not only delicious food and drinks but also live music with great performances.

- Otsukaresama party バザー・ウェルカムパーティー協力者とのお疲れさま会

We also organize a thank you party for ACE members for always helping NUFSA and providing support for the members in organization of bazaar and welcome party. Here, NUFSA and ACE members become closer in a relaxed friendly atmosphere.

- Tandem

Since year 2016 we have launched new project called Tandem, which is an opportunity for those who are willing to master a language (or two) and even get accustomed with cultural nuances by communicating with native speakers. Tandem, basically, means having two or more individuals with skills they can share with one another. Just fill out the questionnaire form providing information about the languages they know and the languages they are wishing to excel at. NUFSA will connect you with the partners they best match with.

❖ Board Game Night

Board game night is held every month in Craig's Café. We provide several choices of board games, such as UNO and pandemics. The aim of the activity is to gather new people to have fun playing the game while getting to know each other. Light snacks and drinks are offered. The event is free of charge.

❖ Live Music Session

The event was held at the end of the year during winter, accompanied with hot chocolate drinks. Posters are out a month before the event, allowing people to sign up and exhibit their musical talents. Some NUFSA's members host the event and interact with the audiences. There were some games during the intermezzos to keep the audiences entertained.

❖ Academic Activities

Japanese Language & Culture course for foreign students' family members, sponsored by Nagoya SAKAE Lions Club.

Nagoya University International Students Association
名古屋大学留学生会

Nagoya University New International Students Welcome Party

名古屋大学新留学生ウェルカムパーティ

October 15th (Sat)
10月15日(土)
17:00~20:00

New Students: Free
新入生:無料
Everyone else: 500yen
他学生: 500円

Location / 場所:
South Cafeteria Mei-dining
南部食堂

Follow us:
fb.com/NUFSAjp
nufsa.nagoya@gmail.com

Organized by NUFSA (名古屋大学留学生会)
Co-host with ACE

Сәлеметсіз бе! नमस्कार! Cześć! ¡Hola!
안녕하세요! 你好 Γεια σας! السلام عليكم
Hallå! Salom! Здрависване!
Xin chào! Olá! Ciao!
こんにちは！ Hei! Hello! Merhaba! Kumusta!
สวัสดี Bonjour! Сайн байна уу! Apa Kabar! Hallo!
Salam Əleyküm! שלום Здравствуйте!

TANDEM

"Tandem" will help you expand your language and cultural knowledge by bringing you closer with people from all over the world

Choose the language you know and want to learn, and we will help you find a partner who can teach and learn from you.

Questionnaire

Fill in our questionnaire to join "Tandem" using QR code, and our moderators will contact you

NUFSA is a student organization, which aims at creating an enjoyable study environment for international students of Nagoya University. Many events are organized by NUFSA every year.

nufsa.nagoya@gmail.com
https://www.facebook.com/nufsajp/

NUFSA Cinema Club is for those who wants to enjoy a good movie with a good company.
Take a break from studying, grab a drink, make new acquaintances and friends.

TIME - The last Friday of the month
LOCATION - Craig's Café (on the map D2 5)

Get one item from the café and enjoy the movie with a good company!

Join us on

NUFSA Cinema Club